

西脇 幸太 (Kota NISHIWAKI)

学位：修士（学術）

略歴：名古屋大学大学院国際開発研究科国際コミュニケーション専攻博士前期課程修了

専門分野：英語学、英語教育

研究課題：1. 現代英語の語法文法

2. 学習英文法・英文法指導

【著書】

- ・「他動詞 eat の目的語省略」、『英語のエッセンス』現代英語談話会（編）、山口美知代、山本晃司、北原賢一、滝沢直宏、西脇幸太、堀江淳之助、山崎のぞみ、吉田悦子、石井昌子、魚住香子、菊池繁夫、田淵博文、都築雅子、豊田昌倫、松井信義（著）（大阪教育図書、pp. 51-61、2019年12月）

【論文】

- ・「提案・勧誘を表す what do you say の表現パターンと優先規則体系」『言語の本質を共時的・通時的に探る 一大室剛志教授退職記念論文集一』（田中智之・茨木正志郎・松元洋介・杉浦克哉・玉田貴裕・近藤亮一（編）、pp. 65-77、開拓社、2022年3月）
- ・“Form and Meaning of the *How about Let's VP* Construction: Through Comparison with *What about*” (*JELS* 39、pp. 78-84、日本英語学会、2022年2月)
- ・“*Not Doing So* Occurring in the Subject Position in Subjunctive Sentences” (『立命館言語文化研究』33巻2号、pp. 271-282、立命館大学国際言語文化研究所、2021年11月)
- ・“Towards a Better Description of the Combination “*Rare NOUN*” for Japanese Learners of English” (『愛知文教大学比較文化研究』第16号、愛知文教大学、pp. 35-52、2021年2月)
- ・「学習英文法における単文主義の改善を目指して：The Fact Is That S.を例に」（『立命館言語文化研究』32巻2号、pp. 65-79、立命館大学国際言語文化研究所、2020年9月）
- ・“-ly Adverbs Frequently Occurring with *N after N*: With Special Reference to *Until (...)* *Finally/Eventually*” (『現代英語談話会論集』第15号、pp. 41-60、現代英語談話会、2020年3月)
- ・「英語の授業における単元の入り口と出口でのICT活用」(『愛知文教大学教育研究』第10号、pp. 9-18、愛知文教大学教職課程研究センター、2020年2月)
- ・「The truth is, S.における the の脱落」(『英語語法文法研究』第26号、pp. 159-175、英語語法文法学会、2019年12月)
- ・「学習英文法研究の中核：教育現場からの提案」(『立命館言語文化研究』31巻2号、pp. 13-26、立命館大学国際言語文化研究所、2019年10月)
- ・「目的語の省略について：Eat と Devour を中心に」(*JELS* 31、pp. 109-115、日本英語学会、2014年2月)

- ・「英語の知識を活かした実践的な指導のあり方」(『山口大学教育学部研究論叢』第63巻第1部、pp. 191-202、西脇幸太・高山寛之・松谷緑著、山口大学教育学部、2014年1月)
- ・「動詞 eat の完結性」(『英語語法文法研究』第20号、pp. 166-181、英語語法文法学会、2013年12月)
- ・「動詞 Eat の Missing Object — 中核的な解釈と周辺の解釈 —」(『英語語法文法研究』第18号、pp. 110-124、英語語法文法学会、2011年12月)
- ・「Missing Object の認可に関わる優先性規則 — Eat とその下位レベルの動詞の比較分析を通して —」(『英語語法文法研究』第17号、pp. 132-147、英語語法文法学会、2010年12月)
- ・「動詞不変化詞結合と無目的語現象」(『英語語法文法研究』第15号、pp. 124-138、英語語法文法学会、2008年12月)

【その他】

- ・Vision Quest English Logic and Expression I Standard 編集委員会・啓林館編集部『Vision Quest English Logic and Expression I Standard Teacher's Manual (①解説・指導編)』(共著)(新興出版社啓林館、2022年3月)
- ・Vision Quest English Logic and Expression I Advanced 編集委員会・啓林館編集部『Vision Quest English Logic and Expression I Advanced Teacher's Manual (①解説・指導編)』(共著)(新興出版社啓林館、2022年3月)
- ・「表現力向上のための振り返りとフィードバック (連載「コミュニケーションにつながる文法指導」第6回・最終回)」(『英語教育』2021年9月号[第70巻7号]、pp. 50-51、大修館書店、2021年8月)
- ・「表現力向上のために英文といかに向き合うか (連載「コミュニケーションにつながる文法指導」第5回)」(『英語教育』2021年8月号[第70巻5号]、pp. 58-59、大修館書店、2021年7月)
- ・「理由表現の型を生かした言語活動 — partly because ..., partly because ..., but mainly because ... を例に (連載「コミュニケーションにつながる文法指導」第4回)」(『英語教育』2021年7月号[第70巻4号]、pp. 58-59、大修館書店、2021年6月)
- ・「他者の立場で考える活動 — 仮定法過去を例に (連載「コミュニケーションにつながる文法指導」第3回)」(『英語教育』2021年6月号[第70巻3号]、pp. 56-57、大修館書店、2021年5月)
- ・「感情を表す表現の理解を深める (連載「コミュニケーションにつながる文法指導」第2回)」(『英語教育』2021年5月号[第70巻2号]、pp. 58-59、大修館書店、2021年4月)
- ・「教科書本文に感想を一言加える活動 — To one's surprise を例に (連載「コミュニケーションにつながる文法指導」第1回)」(『英語教育』2021年4月号[第70巻1号]、pp. 60-61、大修館書店、2021年3月)
- ・「情報構造が導いてくれた新たな英語の世界」(『G.C.D.英語通信』第66号、pp. 16-17、大修館書店、2020年10月)
- ・「中核から周辺への連続体としての英文法 — 生徒に伝える豊かさ・面白さ」(『英語教育』2020年7月号[第69巻4号]、pp. 22-23、大修館書店、2020年6月)

- ・「書評：中島平三著『「育てる」教育から「育つ」教育へ ― 学校英文法から考える』大修館書店, 2019, 160 pp.」(『英語教育』2020年3月号 [第68巻13号]、p. 91、大修館書店、2020年2月)
- ・中邑光男 (編集主幹) 『アクシスジーニアス英和辞典』執筆・校閲協力 (大修館書店、2019年12月)
- ・「英語学／言語学・今年のベスト3」(『英語教育』2018年10月増刊号 [第67巻8号]、pp. 76-77、大修館書店、2018年9月)
- ・「読んでおきたい最近の英語学関連図書」(『英語教育』2017年11月号 [第66巻9号]、pp. 16-17、大修館書店、2017年10月)
- ・中邑光男・山岡憲史・柏野健次 (編集主幹) 『ジーニアス総合英語』編集協力 (大修館書店、2017年10月)
- ・「言語活動を支える英語の表現方法の効果的な指導 ― 即興の言語活動を取り入れた授業改善を通して ―」(『平成28年度英語教育海外派遣研修 研修成果報告書』、pp. 163-167、独立行政法人教員研修センター、2017年3月)
- ・「書評：江藤裕之著『英文法のエッセンス』大修館書店, 2015, 240 pp.」(『英語教育』2016年1月号 [第64巻11号]、p. 91、大修館書店、2015年12月)
- ・高校英語研究会・啓林館編集部 (編著) *Vision Quest English Expression I Advanced WORKBOOK* (平成26年度用) 校閲 (啓林館、2014年3月)
- ・井上永幸・赤野一郎 (編) 『ウィズダム英和辞典』第3版 項目執筆 (三省堂、2013年1月)

【主な口頭発表等】

- ・「How about let's VP 構文の形と意味：What about との比較を通して」(研究発表：日本英語学会第39回大会、Zoom 利用によるオンライン開催、2021年11月)
- ・「The N is that S.と冠詞の省略：truth とその類義語を中心に」(研究発表：六甲英語学研究会2019年9月例会、於：神戸市勤労会館、2019年9月)
- ・「学習英文法研究の中核：高校現場からの提案」(招待発表：シンポジウム「学習英文法を巡って」、主催：立命館大学・国際言語文化研究所、於：立命館大学、2019年3月)
- ・「The truth is that S.の構文パターン：truth の修飾語に焦点を当てて」(研究発表：英語語法文法学会第26回大会、於：立命館大学、2018年10月)
- ・「他動詞 eat が目的語を省略すべきとき：有標形を支える原理」(研究発表：英語語法文法学会第25回大会、於：専修大学神田校舎、2017年10月)
- ・「Eat の意味：完結性に焦点を当てて」(研究発表：六甲英語学研究会2017年9月例会、於：龍谷大学大阪梅田キャンパス、2017年9月)
- ・「学習者に軸足を置いた学習英文法研究：動詞の目的語省略を例に」(研究発表：2016年度大学英語教育学会関西支部学習英文法研究会第2回例会、於：大阪市立大学文化交流センター、2016年12月)
- ・「進学校における4技能統合と大学入試対策を両立させる指導～3年間の実践を踏まえて～」(招待発表：より良い英語教育を考える会2016年6月例会、主催：京都外国語大学英語教育研究会、於：キャ

ンパスプラザ京都 6 階京都外国語大学サテライト教室、2016 年 6 月)

- ・「高校現場での英作文教育」(招待発表：英語表現および英作文教育に関するシンポジウム、主催：立命館大学言語教育情報研究科・立命館大学国際言語文化研究所、於：立命館大学衣笠キャンパス、2016 年 2 月)
- ・「動詞 eat の目的語省略：英語学と英語教育の観点から」(研究発表：2014 年度大学英語教育学会関西支部学習英文法研究会第 2 回例会、於：大阪市立大学文化交流センター、2015 年 2 月)
- ・「目的語省略に関する一考察：eat と devour に焦点を当てて」(研究発表：神戸言語学研究会 2014 年 1 月例会、於：龍谷大学大宮学舎、2014 年 1 月)
- ・「目的語の省略について：Eat と Devour を中心に」(研究発表：日本英語学会第 31 回大会、於：福岡大学、2013 年 11 月)
- ・「動詞 eat について」(招待発表：「英語学と英語教育」学校で英語を教えるということについて語ろう、主催：山口大学教育学部、於：山口大学、2013 年 8 月)
- ・「英語の暗黙項について — 英語学と英語教育の観点から —」(研究発表：大学英語教育学会関西支部第 9 次学習英文法研究会第 8 回例会、於：関西大学、2007 年 2 月)

【所属学会等】

英語語法文法学会、日本英語学会、現代英語談話会、大学英語教育学会

【社会活動等】

- ・英語語法文法学会事務局長 (2022 年 4 月～)
- ・2021 年度教員免許状更新講習 (選択領域)「英語によるアウトプット活動の充実のために」講師 (於：愛知文教大学) (2021 年 8 月 20 日)
- ・2020 年度教員免許状更新講習 (選択領域)「英語によるアウトプット活動の充実のために」講師 (於：愛知文教大学) (2020 年 8 月 7 日)
- ・愛知県立岩倉総合高等学校分野別模擬授業外国語分野「大学で学ぶ外国語：英語を中心に」講師 (主催：愛知県立岩倉総合高等学校) (2020 年 7 月 15 日)
- ・英語語法文法学会運営委員 (2020 年 4 月～)
- ・英語語法文法学会事務局長補佐 (2020 年 4 月～2022 年 3 月)
- ・愛知県立東海南高等学校進路ガイダンス「英語による発信力を向上させるために必要なこと」(主催：愛知県立東海南高等学校、於：愛知県立東海南高等学校) (2019 年 11 月 7 日)
- ・大学英語教育学会関西支部学習英文法研究会副代表 (2019 年 4 月～)
- ・平成 29 年度英語教育海外派遣研修事前研修会助言講師 (主催：独立行政法人教職員支援機構、共催：文部科学省、於：独立行政法人教職員支援機構) (2017 年 5 月 8 日から 2017 年 5 月 9 日)
- ・平成 29 年度岐阜県英語教育イノベーション戦略事業高等学校英語科授業改善委員長 (2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日)

- ・平成 28 年度授業改善講座高校外国語グループ 2「英語授業指導力向上講座」講師（主催：岐阜県教育委員会、於：岐阜県立岐阜北高等学校）（2016 年 11 月 15 日）
- ・各務原市立蘇原中学校出前授業「使える英語を身につけるための英語学習」（主催：各務原市立蘇原中学校、於：各務原市立蘇原中学校）（2016 年 6 月 24 日）
- ・平成 28 年度初任者研修校外研修示範授業講師（主催：岐阜県教育委員会、於：岐阜県立岐阜北高等学校）（2016 年 5 月 17 日）
- ・岐阜県英語教育イノベーション戦略事業＜高校外国語科＞英語教育改善推進執行副委員長（授業改善部門長）（2016 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日）
- ・各務原市立蘇原中学校出前授業「使える英語を身につけるための英語学習」（主催：各務原市立蘇原中学校、於：各務原市立蘇原中学校）（2015 年 6 月 23 日）
- ・岐阜県英語教育イノベーション戦略事業＜高校外国語科＞グローバル人材育成を目指した高校英語教育改善研究委員（2014 年 9 月 1 日～2016 年 3 月 31 日）